

地域と共に歩む しらやま

越前市武生第五中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	5回(のべ)5日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	8人
授業ボランティア(含:低ボラ)	人
登下校支援ボランティア	266人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

具体的活動内容

1 ねらい

- ・地域が取り組んでいる活動に協力することで、いろいろな世代の人々と触れ合い視野を広げるとともに、学校と地域の交流の場をつくった。
- ・地域に根付いた活動を実際に体験することで、ふるさとを大事にする心を育てた。

2 活動の概要

ふるさとの自然を守り、自然に親しむ活動に協力した。

地域・学校協議会の中で協力依頼を行ったり、活動報告や反省をすることにより、地域の専門家や委員さんからの指導や協力を得ながら地域に根付いた活動を実施した。

特に今年度は、コウノトリが再び飛来することを願い、専門家や地域の方々(水辺と生き物を守る会・コウノトリ呼び戻す農法部会等)の協力を得ながら、小学校田や退避溝に生息する生物の数や種類の変化を調査した。調査結果は地区文化祭で展示したり、「再びコウノトリの舞う、人も生き物も元気な里づくり」の取り組みでポスターセッションに参加したり環境新聞を作り、地区内全戸配布したりして情報発信した。白山地区にコウノトリの放鳥に向け飼育が始まり、地区の活動も盛んとなり、生徒も地区の一員としてふるさとの活動に参加した。専門家の講演会を実施し、様々な活動を知ることができた。



またスイカ栽培は、定植から収穫まで農協やスイカ組合の方にゲストティーチャーとして指導をお願いし、400個以上のスイカを収穫した。全国的に自生地がほとんどなくなってしまったサギ草の栽培ではサギ草王国の方々のアドバイスを受け、今年度も地区のサギ草祭りに展示した。

成果と課題

- ・地域の方々のコウノトリの放鳥に向けての思いを直接うかがうことができたことは、生徒にふるさとを知り、受け継いでいくことの大切さを学ぶ大変良い機会であった。
- ・地区の文化祭・地区の夏祭り・「再びコウノトリの舞う、人も生き物も元気な里づくり」行事など地域振興に関わる行事に生徒や教員が参加したことで、地域との信頼関係が築けた。参加に関しても地域・学校協議会のメンバーである区長会長、公民館長、里地里山部長がメンバーであることにより、生徒の活動に協力的であり、生徒にふるさとを愛し、守りこれからの地域を担っていこうという意識が育つ一助となった。
- ・総合的な学習や学校行事のカリキュラムを見直し、小中間の系統性、家庭や地域とのつながりを大事にし、継続発展させることが今後の課題である。